

訪問ガイド 2026

ベレンの塔

リスボン · から 15€

https://torre-de-belem.visit-tickets.com/ja/ · 優先入場チケット & 料金



歴史 & エクスペリエンス

起源 & 歴史

大海の守護者

GOOGLE 4.5 ★★★★☆ 118 928 レビュー

TIQETS 3.8 ★★★★☆ 2 522 レビュー

1514年から**1519**年にかけて建設されたベレンの塔は、軍事建築家フランシスコ・デ・アルドゥアによって設計され、テージョ川の河口を防御するために建てられました。 大航海時代、この要塞はインドやアジアへ向かうキャラベル船の出発点として公式に機能し、ポルトガルの輝かしい海洋時代の幕開けを象徴した。 その建築は独自の融合を反映しており、マヌエリン様式が、尖塔やアーチ状のバルコニーに見られるムーア様式の影響と調和している。 砦の六角形構造は大砲と港湾司令官を収容しており、一方、四階建ての主塔は河川を圧倒し、揺るぎない戦略的権威を誇っていた。 数世紀にわたり、この塔は多様な運命をたどってきた。 1580年以降、この施設は軍事監獄に転用され、地下の牢房はテージ川の氾濫により定期的に浸水した。 この暗い時期は、マヌエル1世の治世において海軍の力と王権の守護を象徴する本来の役割とは対照的である。 1983年にイエロニモ修道院とともにユネスコ世界遺産に登録されたベレンの塔は、現在もなお国の象徴として知られている。 19世紀の修復作業は、その本質を保全しつつもネオ・マヌエリノ様式の装飾要素を追加し、この16世紀の宝石が訪問者たちを魅了し続けることを保証している。

体験

水辺に近づくと、青空を背景に白い塔のシルエットがくっきりと浮かび上がり、歴史に満ちた雰囲気が漂います。 海風は、登攀という身体的な負荷に体を準備させるための即時的な爽快感をもたらす。 記念碑の周囲を包む相対的な静寂は、その古い壁の中に入る前に、穏やかな瞑想へと誘う。 内部では、空間が急激に狭くなる。 狭く暗い螺旋階段は、訪問者にペースを緩めることを強要し、脚に負担をかけつつも、光へと向かう段階的な上昇によって各歩みを報いる。 それは、身体的な努力が最終的な視覚的開示に直接つながる、強烈な感覚体験である。



訪問の準備

実用的な情報

住所
Freguesia de Santa Maria de Belém · トラム：15系統（Belém駅）または28系統。バス：720、728、750系統。

営業時間
月曜休館。季節により営業時間が異なるため、正確な時間帯は訪問前に公式サイトでご確認ください。

料金
年齢に応じた子ども無料（バリエーションを確認してください）

所要時間
螺旋階段を上り、テージョ川の絶景テラスを楽しむには30〜45分を見込んでください。同時入場人数は最大120名まで制限されています。

写真撮影
フラッシュなしでの撮影は許可されています。白い外壁は夕方の黄金の光が差し込む時間帯が最も美しいアングルになります。

対象者
歴史愛好家やカップルに最適です。注意：階段が狭いため、小さな子どもや移動が困難な方には不向きです。

アクセス方法

アクセス & 交通手段

地下鉄
: Lg. Princesa駅 — 5 min à pied
リスボン・サンタアポリニア駅 (26 min) · リスボンオリエンテ駅 (38 min)

バス
: プリンセス広場 — 5 min à pied
リスボンスンタアポローニャ駅 (42 min) · リスボンオリエンテ駅 (61 min)

車
リスボンスンタアポローニャ駅 (31 min) · リスボンオリエンテ駅 (47 min)

自転車
リスボンスンタアポローニャ駅 (41 min) · リスボンオリエンテ駅 (63 min)

LOCALISATION

Où se trouve ベレンの塔 ?



📍 Av. Brasília — 1400-038 リスボン

🌐 38°41.495′ N, 9°12.959′ O



組織

タワーの構造と階層

0階（1階）

この階には、かつての砲兵室であったヴォールト天井の地下倉庫があります。大砲用の開口部と厚さ3.5メートルの壁を鑑賞できます。空間は低く暗く、バスタードンの元の防御機能を想起させます。

中層階

スパイラル階段は、マヌエリン様式の彫刻細工を発見できる複数の階へと続いています。これらの中間階からは、狭い窓を通じて川を段階的に眺めることができ、訪問者は最終的な眺望に備えることができます。

上層テラス

見学コースの最高地点からは、テージョ川とリスボンの街並みを360度一望できます。このテラスは屋外にあり天候の影響を受けますが、白い外壁や外部の建築ディテールに自然光が美しく映える様子を存分に楽しめます。

アクセシビリティ

♿ 車椅子アクセス
エレベーターがなく、螺旋階段が狭いため、アクセスが制限されています。

👨‍👩‍👧 ファミリー向け
狭い段差に対応できる6歳以上の子どもにおすすめです。

🎧 オーディオガイド
ポルトガル語, 英語, フランス語, スペイン語



必見スポット

選択

必見の建築遺産

01 FRANCISCO DE ARRUDA 北側ファサード

アルミラリ・スフィア

ファサードを飾るこのアルミラリ・スフィアは、マヌエル1世の個人紋章である。それは大航海時代とポルトガルの宇宙地理学における卓越性を象徴している。彫刻された細部の一つ一つが、当時の天文学的精密さを思い起こさせる。

> 💡 このシンボルは非常に重要であり、今日でも海洋探検に関連する多くの機関の紋章に現れている。

02 INCONNU (STYLE MANUELIN) バスティオンの角

モレスク風の見張り塔

これらの小さな円錐形の塔は、モレスク芸術がポルトガル建築に与えた影響を物語っています。その溝のあるドームは、バスティオンの軍事的な厳格さとは対照的です。要塞に軽やかさと優雅さを添えています。

> 💡 近隣の修道院の初代建築家であるディエゴ・デ・ボイタカが、その洗練された装飾に貢献したと考えられています。

03 六角形棱堡

拱形掩体

この地下の部屋はかつて防御用の大砲を収容していました。その厚い壁と戦略的な開口部は、この塔の軍事的な力を示しています。そこには重苦しい雰囲気が漂い、過去の数世紀にわたる紛争を想起させます。

> 💡 中央が開放された屋根は、砲撃によって生じる煙の拡散を容易にし、砲兵隊の有効性にとって極めて重要な技術的詳細でした。

04 SCULPTEURS MANUELINS 城壁の櫛状突起（クレンセル）

キリスト騎士団の十字

シールドや城壁の櫛状突起に見られるこれらの十字は、マヌエル1世がこの軍事騎士団に属していたことを示しています。キリスト教信仰と海上征服との密接な結びつきを強調しています。風雨に晒されているにもかかわらず、その彫刻は驚くべき細かさを持っています。

> 💡 これらの装飾の一部は19世紀の修復時に追加されたもので、建物の歴史的アイデンティティを強化するために設けられました。

05 パノラマテラス

タゲ川の眺め

頂上から、川は地平線まで広がり、リスボンを見渡す絶好の視界を提供しています。ここでは、港へのアクセスを支配する塔の防衛戦略を理解できます。夕方の黄金色の光が特に水面を美しく照らします。

> 💡 多くの訪問者は、この眺めをより有名な都市の記念碑よりも印象的だと考えています。

06 内部

螺旋階段

登る行為そのものが建築的な体験です。不規則な段差と狭い通路は、ゆっくりとした注意深い歩行を強います。建物の老朽化のため、足元に注意が必要です。

> 💡 交通信号システムが訪問者の流れを調整し、この非常に限られた空間での混雑を防いでいます。

07 ARTISANS MANUELINS 外装飾

彫刻されたサイ

数多くのエキゾチックな彫刻の中で、インドのサイは新大陸への憧れを体現しています。これらの動物モチーフは、探検家たちが持ち帰った物語を語っています。要塞に叙事的で詩的な次元を加えています。

> 💡 これらの動物はしばしば想像上のものや誤って記述されたものであり、未知の世界に対するヨーロッパ人の飽くなき好奇心を示しています。

08 外観

曲線バルコニー

バルコニーにはイスラム建築に着想を得た優雅なアーチが施されています。白い石の硬さを打ち破り、視覚的な柔らかさをもたらしています。また、その戦略的な位置は川を効果的に監視することを可能にしていました。

> 💡 これらの曲線形状と砦の直線との組み合わせは、マヌエリン様式の特色である独自の視覚的調和を生み出しています。

アドバイス

歴史的訪問の最適化

タイミング

午後の遅い時間帯（16時以降）を狙い、白い外壁に差し込む黄金の光を満喫しつつ、正午過ぎの最大混雑を避けましょう。

チケット

オンラインでの時間指定予約は必須です。予約なしの場合、入場口で長時間待つ可能性があり、内部の収容人数は厳密に120名に制限されています。

見学コース

ジェロニモス修道院の訪問を、常に塔の見学とセットにしてください。両者は至近距離に位置しており、調和のとれた歴史的な複合体を形成し、より豊かな体験を提供します。

写真

日没間際に、対岸や上部テラスから外観を撮影してください。斜光の影が、エシャゴット（小さな塔）や彫刻の細部を際立たせます。

休憩

登頂の肉体的な努力の後、パステイ・デ・ベレン（Pastéis de Belém）で温かいパステル・デ・ナタを味わいましょう。これは塔を訪れる観光客にとって伝統的なご褒美です。

子ども

階段は狭く、段差が不規則です。非常に小さいお子様や移動に制限のある方にはおすすめしません。6歳以上のお子様には、手をしっかり握って同行してください。

オーディオガイド

オーディオガイドはフランス語で利用可能であり、マヌエリン様式の複雑な歴史的・建築的コンテキストを理解するには費用に見合う価値があります。没入感を最大限に高めるため、上り坂の区間での聴取を優先してください。

快適さ

履き心地の良いクローズドトゥの靴を履いてください。クローク（ロッカー）はありませんので、狭い螺旋階段で邪魔になる大きなバックパックは避けてください。



よくある質問

よくある質問

事前予約は本当に必要ですか？

はい、入場を保証するためにオンラインでの日時指定予約は必須です。内部の収容人数は同時120名に制限されているため、現地購入の場合でも行列が発生することがあります。日程が決まり次第、早めの予約をお勧めします。

キャンセルはいつまでにできますか？

このチケットは予約確定後、キャンセル・返金不可です。支払い前に日付、時間帯、参加人数をよくご確認ください。その後変更はできません。

現在プロモーションはありますか？

Belémツアーパス＋ヒエロニムス修道院のセット割引が頻繁に提供されています。割引価格を利用するには、プロモーション専用ページを定期的にチェックしてください。個別チケットは通年標準価格で購入可能です。

現地でチケットを購入できますか？

可能ですが高リスクです。特に繁忙期や週末は要注意です。階段内の信号機による人流管理システムにより、120名の定員に達した場合は長い待ち時間がかかります。オンライン予約のみが待たずに確実に入場できる唯一の方法です。

見学にはどのくらい時間がかかりますか？

完全な見学には約30〜45分かかります。この時間は螺旋階段の上り、各階の探索、およびテラスでの滞在時間を含みます。多くの写真を撮りたい場合は、より長い時間を確保してください。

ご存知ですか？

エピソード＆トリビア

水没する牢獄

1580年以降、この塔は軍用刑務所として使用されました。地下の囚人室はテージョ川の増水により定期的に浸水し、囚人にとって特に過酷な拘禁生活となりました。この記念碑の歴史におけるこの暗い側面はあまり言及されませんが、その基礎が頑丈である理由を説明しています。

ネオマヌエリニズム様式の修復

1840年代、フェルナンド2世の治世下で、この塔は大規模な修復を受けた。ネオマヌエリニズム様式の装飾要素が追加され、一部の側面を近代化しつつも、元の本質は保持された。この介入により、時間の経過による劣化から記念碑を守ることができた。

天文学のシンボル

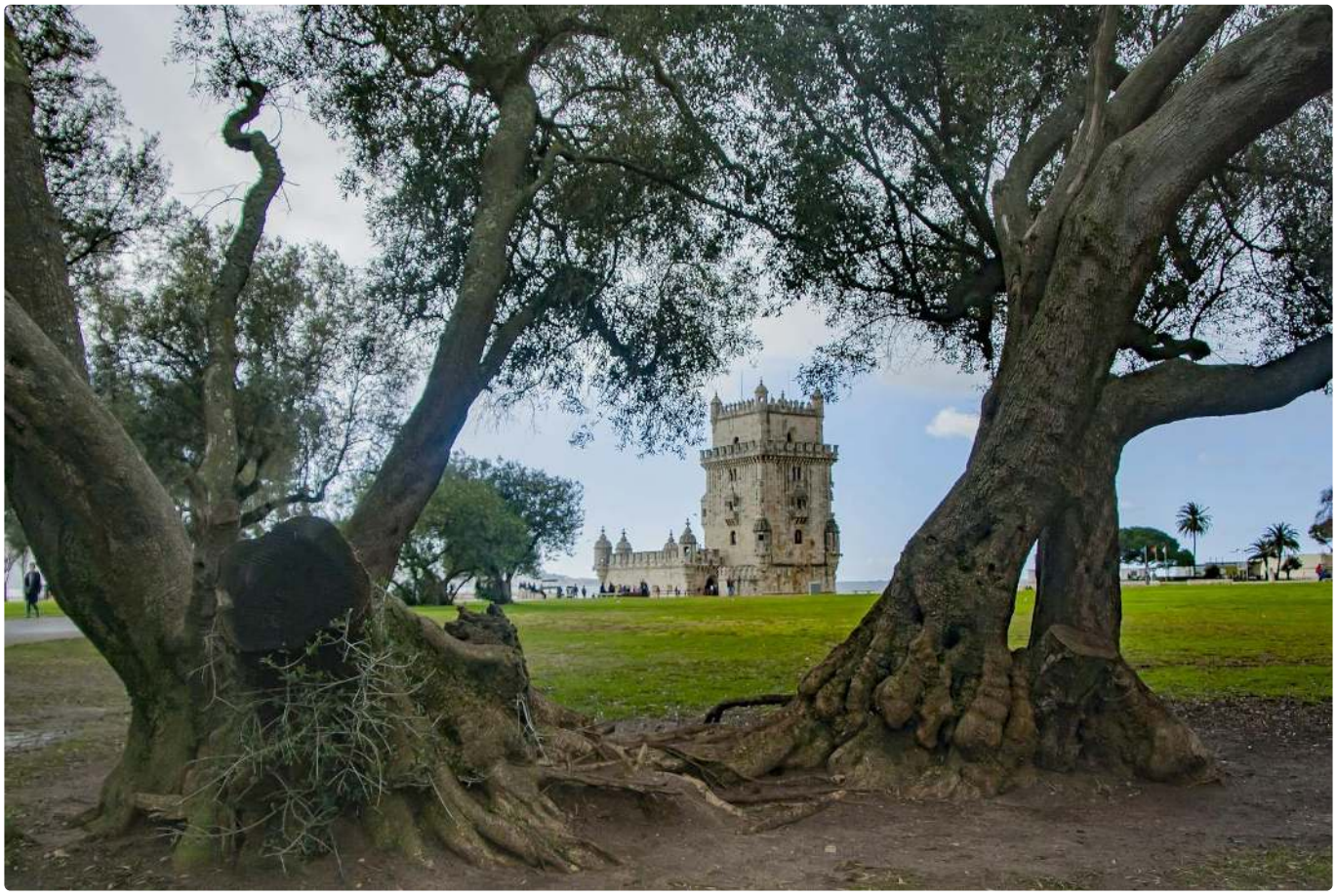
マヌエル1世の象徴であるアームラ球は、発見の時代を常に思い起こさせるものとして建物の外観を飾っている。この天文学および宇宙地理学的なシンボルは、未知の地域を地図に描こうとしたポルトガルの航海者たちが抱いた世界観を反映している。

海洋の起源

タワー建設以前、ベレンの海岸線は「グラン・ナウ」と呼ばれる船によって守られていました。このタワーは、この浮遊する防衛手段を固定かつ恒久的な構造物に置き換えるために建てられ、港湾の防衛を陸地に永続的に根付かせることを目的としていました。

博物館周辺

ベレン地区は、文化と美食の宝庫です。 すぐ隣にあるイエロニモ修道院では、マヌエル様式の芸術に深く浸ることができ、塔の背景を理解するために不可欠です。 登頂後の肉体的な疲労を癒すため、地元の定番である熱々の「パステイ・デ・ナタ」で知られる名店「パステイ・デ・ベレン」へ向かいましょう。 また、カラベル博物館で一日を延長したり、ベレンの庭園を散策することもできます。この静かな緑地は川沿いに位置し、市街地に戻る前のリラックスしたひとときを楽しむのに最適な場所です。



ベレンの塔は単なる記念碑ではなく、ポルトガル海洋史への扉である。 その階段を登ることは、単にその場所を訪れるだけでなく、歴史の重みと発見の時代の偉大さを肌で感じることである。 頂上でのこの孤独な瞬間、無限に広がるテージ川を前にして、リスボンの忘れられない思い出としてあなたの記憶に深く刻み込まれるでしょう。